

平成29年度 自己評価公表シート

認定こども園龍谷きくし保育園

1.本園の保育目標

認定こども園龍谷きくし保育園の保育目標は、「出逢い ふれあい 育ちあい 共に育む生きる力」です。様々なことに出逢える尊い経験は、子ども達の世界を大きく広げ、子どもたちの創造力を伸ばし、子ども自身の力で自らを発達させていくことでしょう。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成29年度認定こども園龍谷きくし保育園、教育・保育課程における、教育・保育目標に基づいて自己点検・自己評価を実施することによって、保育者自らが第三者の立場で保育園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に取り組んでいくことを重点項目とする。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育・教育課程の編成・実施に関して職員間で共通理解を図る。	保育園から認定こども園への移行に伴って、教育・保育課程の編成を行った。職員会議において、年間計画マニュアルのすり合わせを行い、共通理解を図った。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手だてを講じる。	日々の記録を基に、子どもの生活実態を把握した上で保育を行うようにしていた。
教育・保育の質の向上のために、職員会議・園内研修を充実させる。	月1回の定例の職員会議に加え、必要に応じて話し合いの機会を設けたり、園内研修を行い保育の質の向上に努めた。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情などに適切な対応を行う	保護者からの意見を真摯に受け止め、改善すべき点については対応をした。記録を通じて、職員間で共通理解を図った。
各研修会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会に参加し、研修報告として資料にまとめ、職員会議などにおいて提供し、共有化を図った。
発達過程や状況を踏まえ「指導計画」を作成し、計画・実践・省察・評価・改善のサイクルを確立する	日誌等を通して自らの保育を振り返り自己評価を行った。また、年に1度、各年齢ごとの評価項目に沿った自己評価を行っている。
園の財務状況を積極的に公開する	公認会計士により適正に処理されていると認められている。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	認定こども園への移行にともなって、保育課程の見直しを行ったが、保育者ひとりひとりが子どもの発達過程を理解し、保育計画を作成するように努めていた。今後は職員間の連携の図り方を見直し、さらに充実した保育を実践していけるようにしていきたい。

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
研修について	園外で行われる研修会への参加予定計画を作成しているが、計画通りにいかない部分があった。また、園内研修などで情報を共有する時間が不十分だったため、計画的に行い改善を図る。
記録書類の作成	保育の記録に加え、保護者との面談記録などの整備に時間がかかりすぎているため、速やかに記録作成し職員間で共通理解を図れるようにしていく。
保育計画について	教育・保育課程に基づいた指導計画の作成の為に、園を取りまく環境や子どもの実態に則した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。